# 新型コロナウイルス感染症等予防対策について

当センターでは受付時の健康チェック(37.5℃以下)、研修中の体調管理とともに、センター施設内の感染症予防対策を行い、受講者が安心して研修に参加できる環境を整えております。

①受付時の健康チェックと研修中の健康観察表により体調管理を実施してもらい、手指の消毒を徹底させていただいています。37.5℃以上ある場合受講をひかえていただいています。**マスクの着用については、個人の判断に委ねることとさせていただきます。 但し、特に感染防止上必要があると認められる場合においては、マスクの着用をお願いすることがございます。**

②ロビーに設置したサーモグラフィー（37.5℃以上で警告サイン）

③教室、討議室（十分な間隔（1.5m)、資料の机上配付、15 分で空気が入れ替わります）

④食堂、浴室（遮蔽板による飛沫対策とコースごとの食事、12 名以内の入浴（朝はシャワーのみ）で利用人数を調整しています）

⑤実習のある研修は、保護具のほか、希望者にはフェイスシールド、ビニール手袋を配付します。

【受講された方の声】

・ソーシャルディスタンスを保てるよう座席や研修の進め方に工夫がなされており安心して受講できた。

・コースごとの食堂利用、人数制限された入浴などコロナ対策が参考になった。

・施設のあらゆるところにコロナ対策が実施されており、その手法も含めて感動いたしました。

・宿舎、浴場を含め感染予防対策がしっかりされており、安心して受講、宿泊することが出きました。

サーモグラフィー

教室（机１台ごと１名、1.5m 間隔）

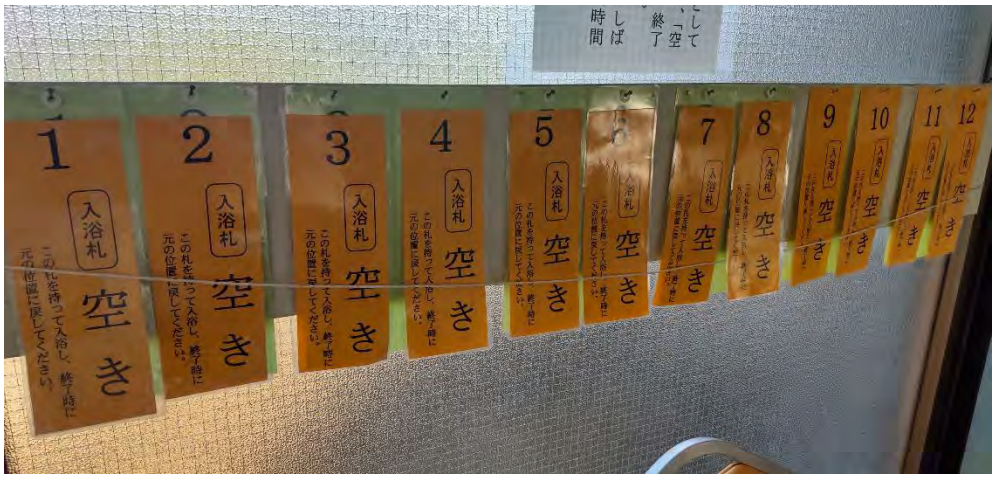
教室、実習室（15 分で空気が入れ替わります）

消毒液（各教室、廊下に設置）

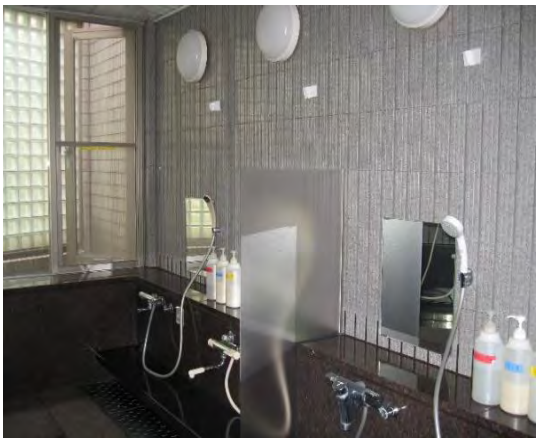
食堂カウンター

食堂
（向かい合わせに飛沫防止パネルを挟み、
１テーブル４名まで着席、
コースごとに時間をずらしての利用）

食堂テーブル
（マスクを置くティッシュペーパー、
テーブルを拭くナプキンを配置）




浴室は入浴札で人数制限を実施



浴室（１２名まで利用）の飛沫防止パネル：脱衣所（左)、浴室（右）

個人専用の浴室用籠（上)、ごみ箱（左)、マスク・ティッシュ専用ごみ箱（右）